学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成２９年４月２４日発行　No.４　　文責　塩川小学校長　佐藤　寅記

子どもの安全・安心　～危険予知・対応の力～

４月は、子どもの命を守るための交通安全教室や避難訓練などが行われます。

避難訓練では、避難指示の放送を正しく聞く、避難経路や防火扉の通り抜け方を知る、「オカシモチ」（押さない・かけない・しゃべらない・もどらない・近づかない）など避難の仕方を知るなどについて学びました。

ここでは、自分の命を自分で守れるようにするため、危機意識や危険を予知する力とともに、自ら対応できる力を養っています。

素早く、正しく避難する1年生

初期消火訓練する6年生

横断歩道の渡り方　～班長・副班長の役割～

止まってくれたドライバーにお礼するのも
班長の役割です

これまで班長は、交通指導員（点線囲み）のように、道路の「真ん中」で下級生を誘導していました。真ん中に立つと背中側が死角になり、車の接近に気づけません。そこで、渡り始める側の「端」で誘導するようにし、左右から来る車を確認できるようにしました。また、横断旗を高く上げて、ドライバーの注意をひくようにしました。副班長は、渡り始める時は先頭にまわって下級生を誘導します。

ヘルメット着用100％

子ども達が、自分の命を自分で守れるよう、自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用するようにしました。そのヘルメットですが、リユース（使わなくなったヘルメットを他の人に使ってもらう）を進めていきたいと考えています。本日付けで、お願いの文書を出しますのでご協力をお願いします。

職員玄関前のモニタリングポスト →

農業科の活動や給食の安全・安心　～放射線量～

圃場の放射線量は、毎月、教育委員会が測定しております。給食食材については、市が毎日３品程度の検査をし、月１回は、県が、全品まるごと検査をしています。

校庭の空間線量は、学校が毎日、測定・記録しております。プール水については、県が測定して安全を確認しております。

学校生活や日常生活の安全・安心

冬場にデコボコになった校庭が、きれいに整地されました。つまずいて転んだりけがをしたりする子の心配がなくなりました。

また、遊具の使い方や朝のマラソンの仕方についても指導しました。

遊具や校庭を使って、日常的な体力向上に励んでほしいと思います。

整地された校庭

満開の桜の下、鉄棒で遊ぶ子ども達